



ふるさとの自然 (27)

身近で暮らすカモ カルガモ

○一年中見られるカモ

市内やその周辺の池や海には、冬に20種類ほどのカモの仲間が渡って来ます。春には北国に帰って行きますが、カルガモは残って子育てをします。

カルガモは全身が地味な茶色のカモで、くちばしの先が黄色い色をしているのが特徴です。カモの仲間には雄がきれいな色をしている種類が多いのですが、カルガモは雄と雌が同じ色をしていて見分けが付きません。

○最初に見た動くものがお母さん

春になると、水辺に近い草むらに枯れ草を集めて丸い大きな巣を作り、10個ほどの卵を産みます。卵を温めたり、ひなの世話をしたりするのは母親の仕事で、父親はまったく手伝いません。生まれたひなは、すぐに歩いたり泳いだりでき、母親の後を付いて行きます。

カモのひなには、産まれて初めて見た動くものを、母親だと思ふ「刷り込み」という習性があります。そのため、最初に見た動くものが人間だったら、その人の後をいつまでも付いて歩くことになってしまいます。

(旭市文化財審議会委員 齊藤敏一)

イキイキ あさひっ子



びせ
美世ちゃん

平成18年6月18日生

母親＝衣鳩梨紗さん(萬歳)

「お洒落大好き 将来はモデルになるよ！」

るい
琉生ちゃん

平成21年4月8日生

両親＝林和洋さん

理恵さん(神宮寺)

「ニッコリ笑ってハイポーズ！ 可愛く撮れてる？」



れいと
零翔ちゃん(左)

平成23年12月6日生

みつきちゃん(中)

平成19年7月31日生

はづきちゃん(右)

平成21年12月30日生

両親＝日下秀夫さん

恵梨子さん(岩井)

「弟が生まれてうれしそう！ 大きくなったら一緒に遊ぼうねっ!!」



“イキイキあさひっ子”を大募集

掲載を希望する人は、秘書広報課広報広聴班(〒289-2595 旭市二の1920・☎62-8070)へ。

対象は、小学校入学前の幼児です。申込用紙は、旭市保健センター、飯岡保健センター、秘書広報課、各支所にあります。

編集こぼれ話

6月4日～10日は、歯の衛生週間です。8ページの歯周疾患検診の記事にもありましたが、歯や歯肉の状態が悪くなると、全身の健康状態にも影響が及んでしまうそうです。また成人の多くが歯周病にかかっているとのこと。きちんと歯磨きをしているつもりの自分も、このままではおそらく……。

大切な歯を失わないためにも、より丁寧な歯磨きと規則正しい生活を心掛け、しばらく受診していなかった歯医者さんにも行ってみようと思います。(コ)

くらしのカレンダー

1日(金)	人権擁護委員の日、水道週間(～7日(木))
3日(日)	旭市消防操法大会(午前8時～ 旭文化の杜公園)
4日(月)	歯の衛生週間(～10日(日))
10日(日)	旭市いいおか港・水産まつり2012(午前8時30分～ 飯岡漁港)
15日(金)	県民の日
17日(日)	父の日